



図1 陶炎祭での販売風景



図2 アイデア案



図3 開発したハッスル黄門グッズ

【開発の背景】

同協会は、昭和41年に本県窯業業界振興のため設立され、現会員は48名で、笠間焼製造販売や瓦製造工事、窯炉製造販売、セラミック・ガラス・陶管・電磁器・美装砕石などの製造業で組織されています。

ハッスル黄門の笠間焼への転写を提案し、4/29~5/5の第30回陶炎祭で販売したところ(図1)、反響が大きかったため、復興支援グッズとして開発することになりました。

【開発の経緯・支援内容】

グッズ開発にあたっては、仕様マニュアルに基づき、制作しました。

1) ハッスル黄門グッズの企画(図2)

原寸大ペーパーモデルにより、アイデアを提案しました(蚊取り線香入れ、風鈴、ペン立て、アロマポット、名刺立て、ペン皿、マグネット、ウェイト、メモスタンド)。

2) 石膏型の試作

マニュアルには三次元データの記載がないため、二次元画像からマスコットの奥行きや裏面を想像しながら原型を試行錯誤しました。

3) 釉薬の試作

マニュアルのCMYK表記を当所の釉薬データベースから検索し、近似する釉薬に調合しました。

4) 販売コーディネート

県広報広聴課と連携し、アンテナショップや駅ビルなど県内主要施設へ斡旋紹介しました。

【開発した製品の紹介】

用途をステーションナリーと想定し、女性の意見から原色に近い色(青、水色、緑、黄、ピンク)をラインナップとしました(図3)。

県内はじめ笠間を訪れた記念品として、新たな需要が期待されています。今後は、商品アイテムの拡充やオーダーメイド対応により、定番化を計画します。

■価格(税込): ペーパーウェイト¥800, ペン立て¥1,200, フィギュア¥1,200, オルゴール¥1,500, マグネットフック¥600, 一合釜¥800, 三合釜¥4,000, 小皿¥400

■記事掲載: 5/1 茨城新聞, 12/22 茨城新聞

基礎となった事業 平成23年度 試験研究指導費(標準)

現在の担当部門 工芸技術部門 部門長 佐藤 茂 TEL: 0296-72-0316
材料技術部門 嘱託 砂山 ちひろ